

Bグループ

北村美香 (那谷小) 中出奈美恵 (荒屋小)
大嶋悦子 (苗代小) 谷口美幸 (蓮代寺小)
西村優子(矢田野小) 瀬川美智子 (粟津小)
中山直美 (国府小) 村井由恵 (能美小)

平成 22 年度 母親委員会

グループ別研修 B グループ

「親の言い分・子どもの言い分」

子どもに伝えていますか？親の気持ち
とれていますか コミュニケーション

【テーマ設定】

第二回母親委員会で藤原清道さんの「親の言い分・子どもの言い分」と題して講演会がありました。

普段子どもに言っている言葉を子どもはどう受け止めているのか改めて気付きました。

親の言い分と子どもの言い分が一致することは少ないがコミュニケーションのとり方したいでは子どもとよい関係を築けるのではないかとの思いから親子のコミュニケーション（会話）についてテーマを設定しました。

【はじめに】

毎日「今日 学校どうだった？」など子どもと会話しない日はないと思います。
その中でついつい子どものことを思い「勉強しなさい」「早く寝なさい」など「〇〇〇しなさい」と言ってしまうことはありませんか？

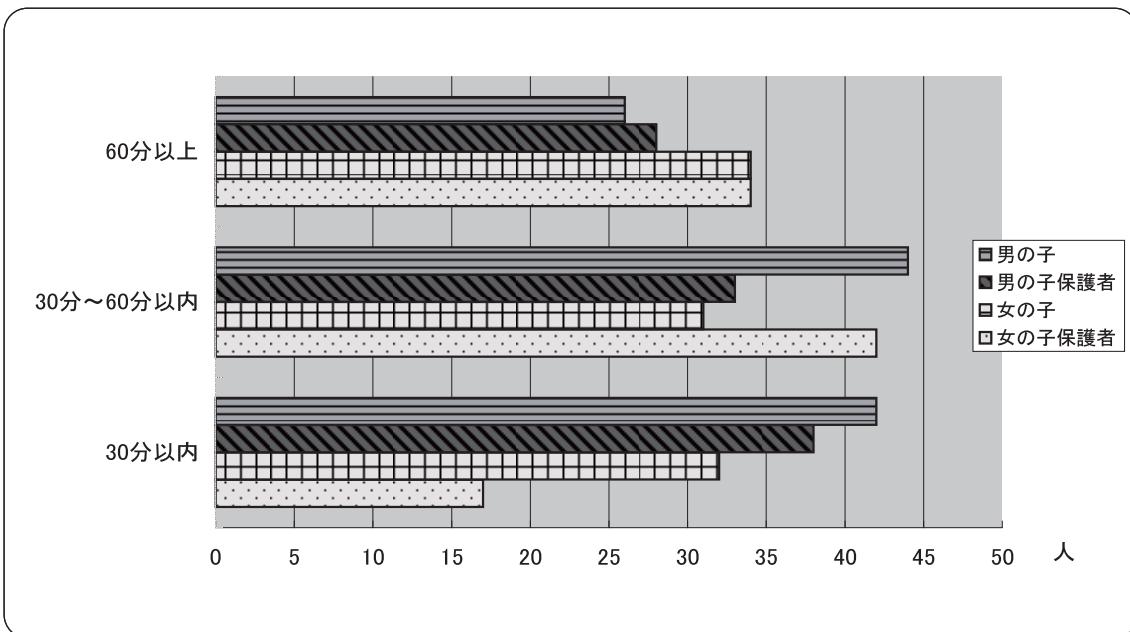
その言葉に対し子どもから返ってくる言葉は「わかったる」「今しようとおもつったのに」など、嫌々・不機嫌な態度。

それを見た時「あなたのためを思って言ってるのにどうしてわかってくれないの」と思ったり、こんな時どう伝えたらいいのかと悩んだことはありませんか？

実際、日々の会話の中で親と子がお互いにどう感じているか、5、6年生とその保護者の方を対象に親の思い、子どもの思いについてアンケートをとり、親子のコミュニケーションについて何に気をつけ、どう伝えたら効果的なのかグループで話し合いました。

親子のコミュニケーションアンケート結果

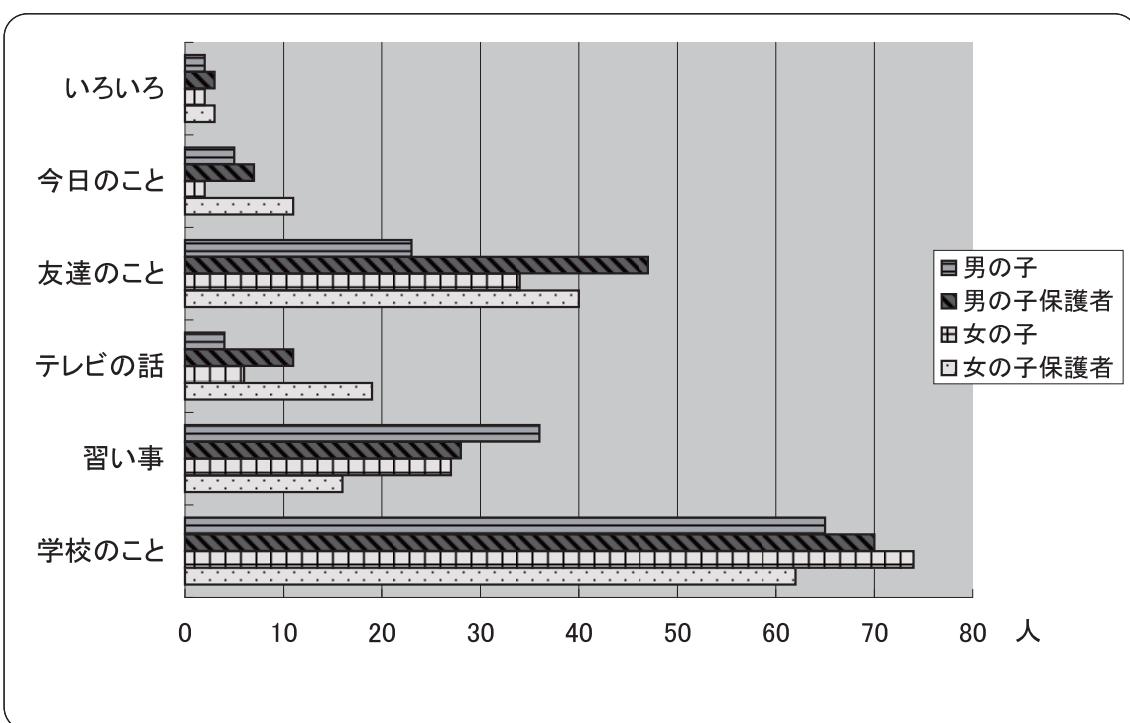
質問1. 平均して一日どのくらい会話をしていますか？



【コメント】

思っていたより会話時間が少ない、女の子は親が思っているほど会話をしていると思っていない。

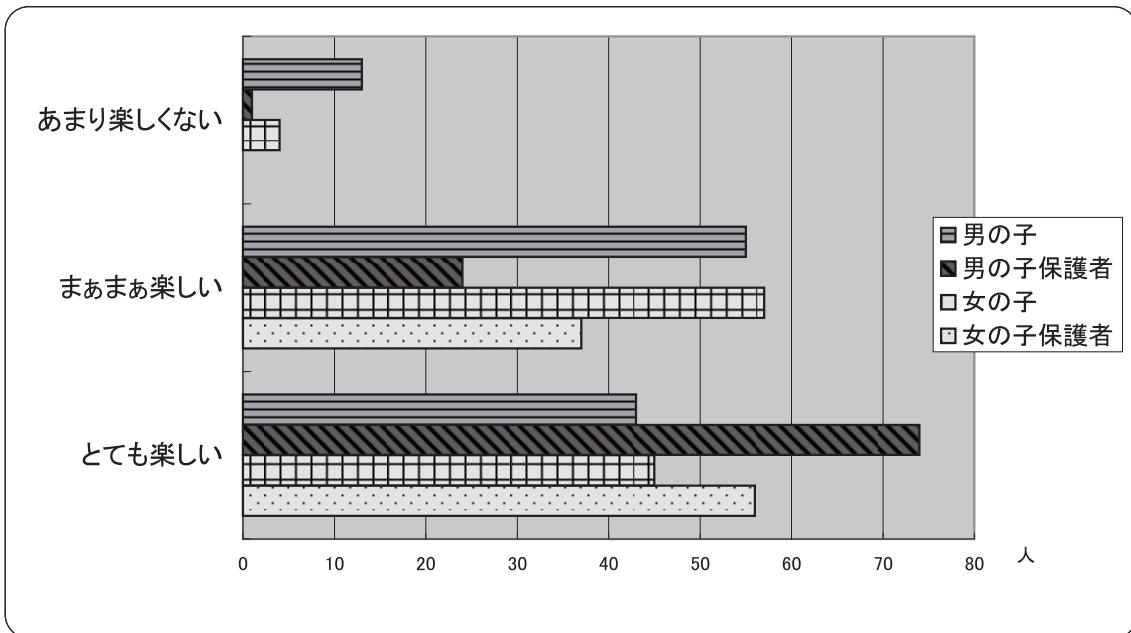
質問2. その会話はどのような内容ですか？



【コメント】

会話は学校のことが中心であるが、その日あったことを話している。

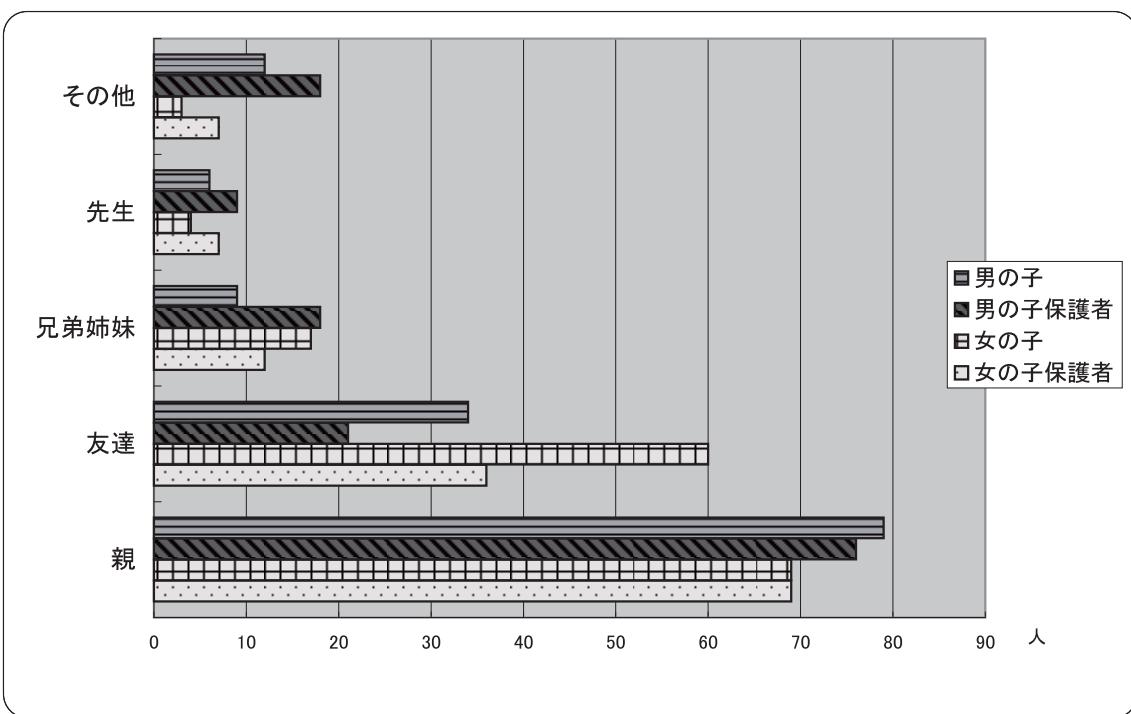
質問3. 会話をする時間は楽しいですか？



【コメント】

親は楽しいと感じているが、子どもは親ほど強く感じていない。

質問4. 悩み事は誰に相談しますか？(子ども) 子どもは誰に悩み事を相談していますか？(親)

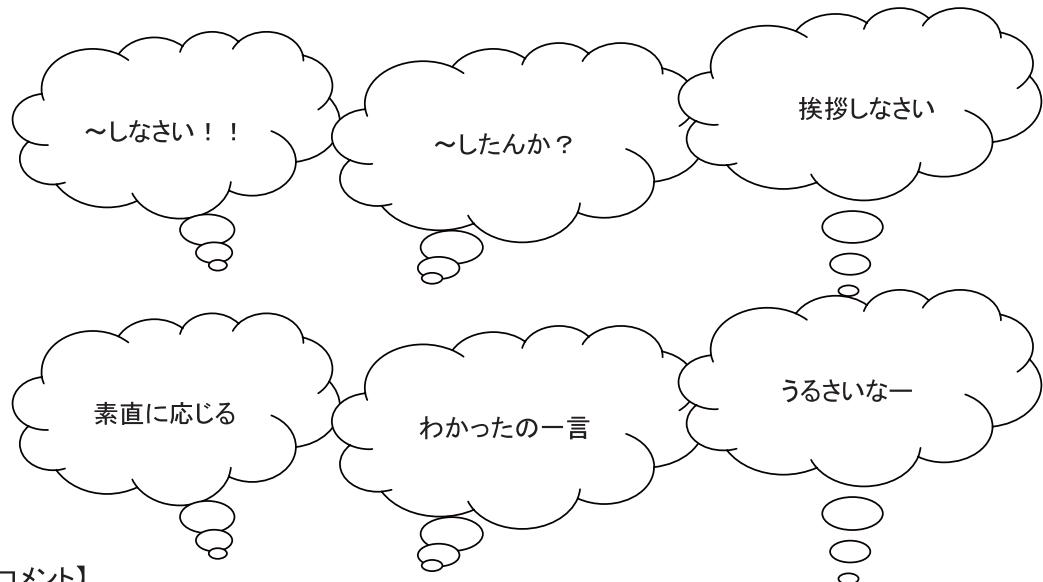


【コメント】

子どもは悩み事を親に相談している。
親は子どもから悩み事を相談されている。
少数意見として一人で悩む、話さない、誰にも相談しない等、気になる意見もあった。

質問5. 親によく言われている言葉は何ですか？

質問6. その言葉に対してどんな気持ち、または、どんな態度になりますか？(子ども)

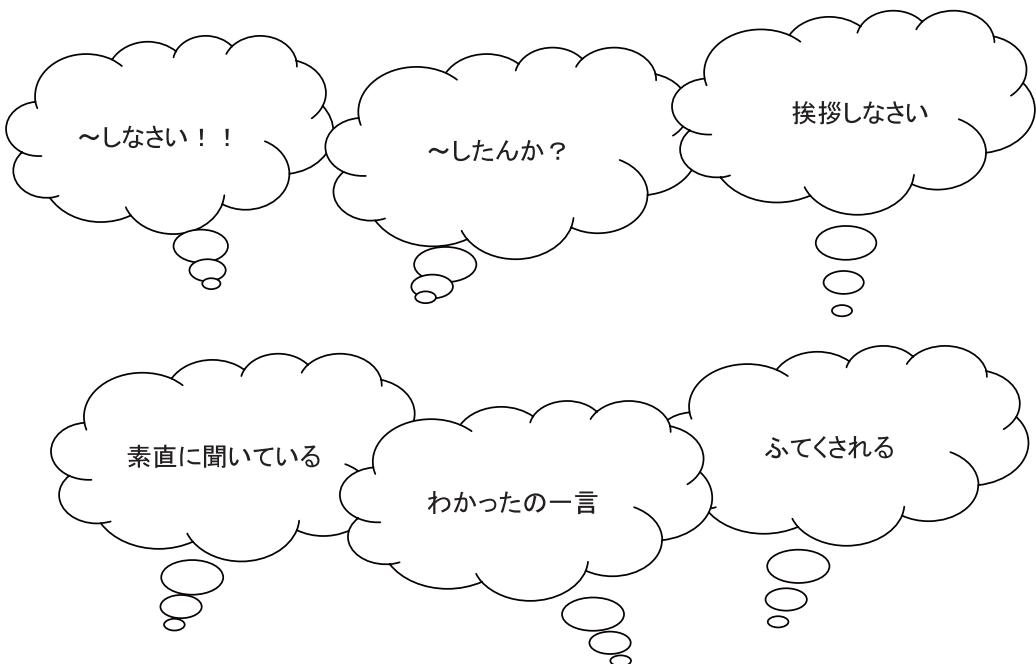


【コメント】

〇〇しなさい。と命令口調が多く、その言葉に対して不機嫌になったり、反抗的な態度をとる。頑張ったね、頑張ってねなど励ましの言葉に対しては素直に受けとめている。

質問5. 子どもによく言う言葉は何ですか？

質問6. その言葉に対して子どもはどんな態度をとりますか？(親)



【コメント】

命令口調で言われた時は不機嫌になったり反抗的な態度をとるが、励ましの言葉には素直に応じてくれる。

質問7. お父さん・お母さんの好きなところはどこですか。



【コメント】

子どもは親の優しいところが好きとの意見が多かった。
しかし、わからないという回答も多くあった。

質問7. お子さんの好きなところはどこですか。



【コメント】

親は子どもの優しいところが好きとの意見が多かった。
子どもの頑張りを認めて応援している思いが伝わってきた。

この二つの絵 何に見えますか？



目の錯覚で、おなじものが違う二つのものにみえてくることもあります。

子どもたちの毎日の言動を思い出してください。

親の見方は一方的になりがちで、無意識で見ている場合が多く、見方を変えることで見えてくることもあります。見え方が変わると子どもを受け入れ、伝える言葉が変わってきます。

親の言葉が変わると子どもへの伝わり方も違ってきます。

【まとめ】

アンケートを通し、親の子への思いの深さ、子の親への信頼感を改めて感じました。

日々何気なくしている会話、お互いに思いは伝わっていないのでは？とも感じました。

日々の忙しさに追われついつい「〇〇〇しなさい」と命令口調になっていませんか？

それに対し子どもは反発した態度をとっていますか？忙しさのあまり感情的になることもあるのでは。そんな時「あんなに言わなければよかった」「イライラして言い過ぎてしまった」と後悔したことはありませんか？たぶん子どもも「あんな態度を取らなければよかった」「言いすぎた」など同じ思いでいるのではないかと思います。

そんな時、自分の思いを言葉にして伝えてみたらどうでしょうか？例えば「今日は忙しくてイライラしているの」「疲れているから手伝ってほしい」など本音を伝えたらきっと子どもは親の思いを理解してくれるのではないかでしょうか。それに対し子どもも「何をしたらいい」「僕（私）手伝ってあげるよ」などと答えてくれるのではないかと思います。お互いに会話の中で自分の思いを伝え、理解しあうことが大切なのではないでしょうか。誰でも失敗はします。親であったとしても。そんな時、素直に謝ってみたらどうでしょうか。きっと子どもは素直に受け入れてくれると思います。大好きな親ですから。

親子のコミュニケーションは、毎日のことで、その1つ1つをどうだったかと振り返ることは少ないと思います。この研修を通し、感謝した時には「ありがとうございます」「手伝ってくれてすごく助かった」など。もし失敗したリライラして言い過ぎた時には「ごめんなさい」「お母さん言い過ぎてしまってごめんね」など、照れくさく親が子どもに謝るなんてという思いもあるかとは思いますが、素直にその時感じた思いを伝えることで子どもも素直な思いを返してくれるのではないか。何より大切なことではないかと感じました。親子がお互いを理解しあえることがよい親子関係を築く手助けになるのではないかでしょうか。そのためにも、今日から感じた事、自分の思いを子どもに伝えてみませんか。